

さいたま市立大宮八幡中学校 ESD の取組み

本校は、人口約120万人を超える政令指定都市にある、全校322人の小規模校である。JRC加盟校として長い歴史があり、人権教育の推進に力を注いでいる。また、環境教育の視点で学校ファームの活動にも力を入れている。国際理解・多文化共生の視点で、学校外の講師を招聘するなどの活動も取り入れている。その他、地域行事への参加や連携を図った活動を行ってきている。そこで、これらの活動をESD(持続可能な開発の為の教育)の観点からまとめることで、地域との絆を一層深めるとともに、地球規模の課題を認識し、中学生として今何をしなければならないのかを知り、考え行動させる。更にこれらの活動を通し、自己の存在が大切なものであることに気付かせ、自己肯定感の高まりを期待する。そしてESDの視点を身に付けた生徒を一人でも多く輩出していきたい。

そこで、「地域・環境・人権プロジェクト」・「国際理解・多文化共生プロジェクト」を実施する。これにより、地球的な課題との関連性を意識しつつ、身近な環境、国際理解、多文化共生、人権の視点から持続可能な社会の可能性の向上について取り組んでいく。

これらのプロジェクトによって、それぞれの生徒や関わる大人が、持続可能な社会の担い手に必要な知識、能力、態度、価値観を身に付けさせることを目標とする。

「地域・環境・人権プロジェクト」

*地域清掃ボランティア(各学年 12月 1時間 総合的な学習の時間)

地域の通学路等を、地域の方や保護者とともに清掃活動を行い、危険箇所を発見することで奉仕の精神を養い、自分の住む町に対する愛情を育む。

*学校ファーム(環境委員会・給食委員会 通年 月2時間)

学区内の種苗店に協力していただき、運営や植え付けから収穫までの指導助言をいただく。学校栄養士と給食委員で、取れた作物を給食で利用するよう計画を立てる。地産地消の大切さを理解し、地球に負担をかけない農業やフードマイレージの大切さを話し合い全校集会で報告する。この活動は家庭科と関連させて実施する。

*ゴーヤグリーンカーテン(環境委員会 夏季)

緑化活動の一環、また地球温暖化対策の一環としての活動であることを理解し、エコロジーについて考える機会とする。

*未来くるワーク(職場体験活動)(1年生 1月 3日間 総合的な学習の時間)

地域企業の協力を仰ぎ、勤労観、職業観を育むとともにキャリア教育の観点から働く意義を考え、社会に貢献することの意義と貢献できる人材の育成を目指す。

*盲人福祉施設への協力(生徒会 通年)

書き損じはがき、切手、テレホンカードなどを集め福祉施設に寄付する活動を通し、中学生としてできることを考え、行動に移す。

*いじめ等人権教育(全学年 11月12月 2時間 特別活動)

「いじめのない学校づくり」を目指し、地域の小学校などと連携し、スローガンを考え広報する。生徒会を中心に、企画運営制作編集したショートフィルム「人権/いじめ The Movie」を人権朝礼で全校生徒向けに上映し、人権について考えさせる機会とする。

- *外部講師を招聘しての人権講演会（全学年 11月 1時間 特別活動）
毎年、人権について講師を招聘し講演会を開催する。人権の意義や大切さについて各自で考える機会とする。
- *地域社会教育施設との連携（生徒会・環境委員会 3年 通年）
学区内の社会教育施設のプランターの花の整備や、文化祭に参加し交流を深める。
- *外部講師を招いての環境講演会（1年 11月 4時間 総合的な学習の時間）
企業退職者の社会貢献活動を活用しリサイクルやフードマイレージなど環境問題についてのリアルな話を聞き、自分たちの生活を見直すための話し合いを行う。
- *新聞記者講演会（2年 11月 4時間 総合的な学習の時間）
冬季自然の教室との関連を意識し、社会で起きている現象について知り、考え、行動する意義を学ぶ。
- *赤ちゃん・幼児触れ合い体験（3年 10月 2時間 家庭科）
一人ひとりが大切な存在であることを自覚するために、幼児とふれあい、親や周りの人たちの思いを自分のこととして捉える機会とする。
- *「いのちの支え合い」を学ぶ授業（各学年 7月 2時間 特別活動）
臨床心理士などと連携し、命の大切さ、いじめの理不尽さなどについて学び、困った時の対応に仕方等をロールプレイ等を交えて学ぶ。

「国際理解・多文化共生プロジェクト」

- *JRC加盟登録式（1年 4月 1時間 特別活動）
青少年赤十字の意義を理解し、日頃の活動が世界につながっていることを知る。
- *「世界一大きな授業」参加（全学年 2時間 5月 総合的な学習の時間）
世界の教育の現状を世界中で同時期に学び、教育の大切さについて考えるイベントに参加し、現状を知り誰もが教育を受けることができるようにするためには何が必要か、どう行動するかを考える。
- *「世界の果ての通学路」視聴（1年 6月 1時間 特別活動）
世界一大きな授業に関連し、普通に通学し学校生活を送ることがいかに素晴らしいことなのかを考える。
- *JICAの企画に参加（全学年 通年）
「世界の笑顔のために」プロジェクトに参加し、青年海外協力隊等、日本の国際貢献の生の声を聴き、中学生として何ができるか、何をしなければならないのかを話し合う。
- *ユニクロのCSR企画に参加（生徒会 希望者 通年）
子供服を集め難民支援を行う企画に参加する。どうしたら子供服を集められるか話し合う。ポスターやVTRを作成し地域の小学校や社会教育施設に行き趣旨説明と回収の方法を伝える。設定した時期に回収し、指定場所に送付する。
- *留学生の講演会（3年 7月 4時間 総合的な学習の時間）
各学級に留学生が入り、生徒は、留学生の出身国の歴史、言語、食、地理、環境、日本との関わりについて調査し留学生の前で発表する。留学生から調査についての話を聞き、自国文化の素晴らしさと、日本の良さについての講演を聞く。
- *大学教授によるESD講演会（全学年 11月 2時間 総合的な学習の時間）
生徒にESDを分かりやすく説明してもらい、学校が進めている活動の意義を理解する。